

【様式1】

概要書

研究名	月桃の葉洗浄分離装置の開発
民間機関等 (相手方)の名称	株式会社 リッチグリーン
研究の概要	<p>今年度は、昨年度製作した試作機の改良と、葉の自動投入や生産管理システムの構築を行うことを検討する。</p> <p>月桃が豊富なミネラルと繊維を持っているため、企業がそれに着目し、お茶やお菓子等の多様な製品を開発してきた。現在、月桃葉の粉碎等の作業は機械による自動化ができていたが、月桃の葉と主脈を分断する作業だけは作業員の手で行われており、効率が非常に悪い。当校は様々な企業の自動化機械開発に携わっており、多くの実績がある。このことから月桃の葉と主脈を分断する作業の自動化について共同研究を行う。</p> <p>現在、企業は当課題に下記のような2つ問題点があると思う。</p> <ol style="list-style-type: none">① 月桃の葉と主脈を分断する作業は作業員の手で行われているため、商品の大量生産が難しい。② 月桃の葉と主脈を分断する作業の前段階で、水による洗浄が必要なため、これと併せて洗浄作業の自動化を図りたい。 <p>本研究では月桃の葉における洗浄機能と主脈と葉を分離する機能を有する装置を開発する。一昨年度においては分離機構の構造が確立され、さらには昨年度において洗浄機構の基本構造が確立した。今年度においては装置の更なるコンパクト化とメンテナンス性の向上、操作性の向上を目指す。さらに、データベースにより生産性の向上が確認できることとする。</p> <p>企業においては、月桃の葉が主脈と葉に分離され、その葉の重量が生産性の目安となる。本研究の主目的は、生産性を上げることにあるため、いかに効率よく主脈を分離できるかが重要になってくる。今年度の装置の完成により、生産性の向上が図られ、沖縄県でのサトウキビについて県産品として認知度の向上へ貢献したい。</p>